

# 「学校健診で子どもを守る」

## ルワンダ医師 帰国し環境整備へ

AMDA研修

ルワンダ人の内科医、アキンティエ・シンバ・カリオペさん(34)が、国際医療NGO「AMDA」の招きで8月から県内で学校保健に関する研修を受けた。同国は1990年代前半、内戦で混乱。今も復興の途にあり、子どもの健康を保障する体制が不十分という。近く帰国するカリオペさんは「学校健診などで健康に教育を受けられる環境を作り、子どもを守りたい」と母国での活躍を誓う。

【久木田照子】

民族間の抗争に端を発した「ルワンダ紛争」と呼ばれる内戦は90年に発生し、94年には80万人以上が虐殺された

たい」と医師を志し、現在は同国で病院の院長も務める。

94年から2004年

まで同国への医師派遣

リールイズさん(50)とイズさんが運営する同研修を企画。マリール国の学校で集団健診を



試験実施した際、医だったカリオペを招くことになった。研修の大きなは、同国では例がという学校集団健診や学校保健室をしたり、県や岡山どから自治体が行校保健政策についてを聞くなどした。

北区のAMDAで今月、研修の成報告。医療機関とや行政、保護者ら携する必要性を説「健診で病気を見た後、治療などにける環境整備が課と指摘した。19日修を終えてすぐに